

薔薇

バラは適温が20°C、従って、5月・10月初旬頃に満開になるように剪定を考えなければならない。春バラは年明けて早々に高さ30cm位まで強剪定し、新芽が出るころに鳥につつかれないようにネットで保護してやる必要があります。花が咲き終わると5枚葉の上1cm位のところを剪定すると次の花の新芽が出てきます。次々と花が咲きますが、茎が弱りますからつぼみをとったほうが良いかもしれません。あとは夏場に下葉をできる限り、残すようにすることによって、茎に養分を吸い上げる力を増し、茎を太くさせます。秋バラは8月下旬剪定に入りますが、剪定して平均55日目に開花しますから品種により異なります。データをとり剪定時期を決め一斉に咲かせるようにします。

バラは肥料食いですし、うどんこ病や黒点病などの病気対策とアブラムシ、カミキリムシなどの害虫対策が大変です。いずれにしても、毎日点検して愛情をもって育てることが肝要です。

バラは小・中・大輪の順に育てるのは難しいようです。

バラは品種ごとに特徴があり、美しさがあります。私の体験を数例挙げますとタマンゴはバラの中で一番醜いと思っておりましたが、ある日、太陽が当たって真っ黒な色が真っ赤な色に光輝き驚いたことがありました。

ピカソは枝が細く、それが動きとなり躍動感のある花に変身します。

パパメイヤは背が高く剣先の花でビロウド色です。この色はなかなか出せなくて毎年挑戦しておりました。

ピースはバラの中で一番丈夫な花の大輪です。

黄色の中にオレンジが少し入ります。

カクテルはつる性の一重の小輪で、名前の由来に、クック・ティール（おすの鶏の尾）を意味します

アパッチ・ティアーズはアパッチの涙といって名前が気に入り、その様なイメージでよく挑戦しておりました。

シュネー・ビッチェンは一番花が白く、二番花から外気に冷やされ、うっすらと花弁の裏がピンク色に染まり、白雪姫という名の通りの咲き方をします。